



GREEN×EXPO 2027応援企画



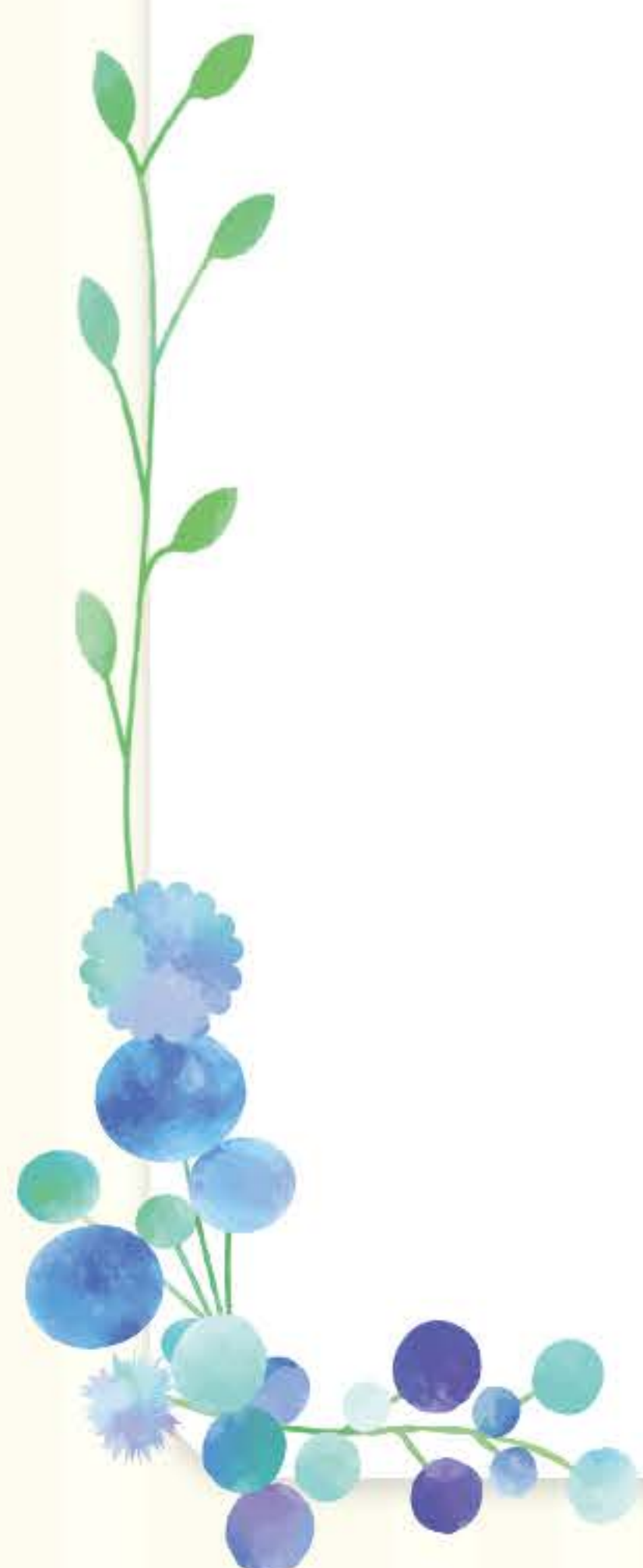
©Expo 2027

今日から使える 花知識

Flower knowledge

第2回

花瓶の選び方



私たちの暮らしに彩りを与えてくれる花。そんな花をもっと楽しむために、役立つ豆知識をお届けする連載企画。第2回は花瓶の選び方を紹介します。

花瓶の選び方の 3 ポイント

POINT

1

花の長さで選ぶ



花瓶を選ぶ際、花の長さにあわせて考えましょう。一般的には花の長さの半分ほどの花瓶が最適。枝ものなど背の高い花には高さのあるものを。小さめの花瓶は、折れてしまった短い花や小さい花などを飾るのにもベスト。

POINT

2

花の本数で選ぶ



花の本数に合わせて、花瓶の口径を選びましょう。一輪なら、小さい口径が最適。数本を飾るなら、くびれがある花瓶はまとまりやすい特徴も。花束なら口径10～15cm程度の広口のものが風通しもよく、適しています。





花の色で選ぶ



花瓶の色は、花を引き立てるだけでなく、部屋の雰囲気作りにも一役買います。白色や透明の花瓶は、どんな色の花にも合わせやすく万能です。色付きのものは、花の新しい印象を引き出し、お部屋のインパクトになります。

ワンポイント

花 知 識

花瓶の倒れを防ぐ ビー玉の活用法



花瓶が倒れることを防ぐには水をしっかり入れ、安定感のあるものを選ぶことが大切です。しかし、一輪挿しや高さのある花などバランスをとることが難しいケースも。そんな時、役に立つのがビー玉。花瓶の中に入れておけば、重みとなり、花瓶が倒れにくくなります。

プラスアルファの裏技



不要な「空き瓶」で即席の花瓶に

おしゃれなジャム瓶やワインの空き瓶も、立派な花瓶として活用できます。口が狭いものは一輪挿しに、広めのものはハーブなどをまとめて飾るのに最適。花瓶をかごやお気に入りの箱の中に並べて装飾を楽しむのも一手。

監修・撮影協力：株式会社日比谷花壇

GREEN × EXPO 2027

～幸せを創る明日の風景～

2027年3月19日（金）から9月26日（日）まで、国際園芸博覧会が神奈川県横浜市で開催されます。日本での最上位（A1）クラスの開催は、1990年に大阪府で開かれた「国際花と緑の博覧会」以来、37年ぶりとなります。1,000万株の花と緑が世界中から集結して「幸せを創る明日の風景」を創り出し、さまざまな展示や体験を通じて、地球環境の明日を考えるきっかけをもたらします。農林水産省は「日本の自然観を再考し、未来へ進む」というコンセプトのもと、政府出展を実施します。



©Expo 2027



会場イメージCG（メインガーデン）